

世界科学データシステム(WDS) 国際プログラムオフィス(IPO)の現状

経緯

年	月日	事項
2008年	10月21日～24日	第29回国際科学会議(ICSU)総会にてWDS事業が発足
2009年	4月27日	WDS科学委員会(WDS-SC)設立
2010年	8月10日～ 9月30日	WDS国際プログラムオフィス(WDS-IPO) <u>主宰機関公募</u> (NICTが応募)
	11月3日	NICTの申し出を国際科学会議が <u>正式に承諾</u>
	12月8日～9日	国際科学会議公式視察団がNICTに来訪
2011年	7月15日	NICT-国際科学会議間で <u>覚書調印</u>
	9月3日～8日	WDS国際会議、科学委員会会合開催(於 京都)
	9月15日～ 10月15日	<u>ED</u> (Executive Director) <u>公募</u>
	12月	ED候補者面接、最終候補者内定
2012年	3月1日	<u>ED着任</u>
	5月9日	国際プログラムオフィス開所式

WDS国際プログラムオフィス(WDS-IPO)上級ディレクター(ED: Executive Director)の決定

WDS-IPOのED(Executive Director)を公募し、国際科学会議(ICSU)側と合同で選考した上で決定

採用者: Dr. Mustapha MOKRANE (国籍: フランス)

・着任: 平成24年3月1日



(1) 採用後の職務内容

- ・ICSU、国連など、関係国際組織、各国研究機関との調整、国際社会へのアウトリーチ活動
- ・WDS科学委員会の活動支援 等

(2) 経歴

2001 [地中海大学] バイオインフォマティクスに関する博士号取得

2002 [ICSU] ICSU情報システム企画・開発、地域オフィス(アフリカ、アジア、ラテンアメリカ)開設等に從事

2009 [ICSU] ICSU内外関連組織間の連携・企画・調整、報告書編纂、関係ウェブサイト企画・構築等に從事

(3) 選定の経緯

- ・ICSUから国際公募、選考
- ・評価プロセス: 世界各国からの応募を若干名に絞り、面接、筆記試験を実施
- ・評価基準概要: ED職務に関する見識と展望。国際事業調整の実績、関連する情報技術の経験等

国際プログラムオフィス (IPO) 及びEDの役割

- ・WDS科学委員会 (WDS-SC) の事務局として活動
- ・EDは科学委員会及びExecutive Committeeに参加
- ・EDは科学委員会の監督の下、WDSの迅速 (expeditious) かつ秩序立った発展及び実現を促進
 - －WDS規約 (Constitution) より
- ・EDはWDSの普及広報を実施
 - －ICSU-NICT間の協力文書 (LoC: Letter of Cooperation) より

(参考) ICSU-NICT間の協力文書の概要

NICTは国際プログラムオフィスの活動のため、以下を実施

- 資金の確保
 - NICTの予算内で一定額を確保
- ED
 - － NICTのフルタイム職員
 - － 国際科学会議が国際公募し、選考委員会が最終候補者を選出
- 場所
 - － NICT本部 (東京) にED、スタッフの部屋の確保
- 会議開催
 - － 科学委員会会合開催及び2年に1度のWDS 会議開催の関連作業

国際プログラムオフィスの位置づけ

